

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第28週 > 咽頭結膜熱 - 定点当たり報告数は第26週に過去10年間の全ての週と比較して最高値を示した後も、最高値を更新し続けている



注目すべき感染症
P.5-6

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 例年報告のピークは夏季にあるので、一層の注意が必要である



病原体情報
P.7-8

咽頭結膜熱患者から分離されているアデノウイルス 2004年 / ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス 2004年 / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2004年



速報
P.9-11

2003年1月~2004年7月に都内で発生した髄膜炎菌性髄膜炎について / 帰国者におけるコレラ患者発生に係る情報提供



海外感染症情報
P.12-13

ボリビアでのボリビア出血熱流行 / ダニ媒介性脳炎(TBE)



感染症の話
P.14

< 今週は該当記事はありません >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(28週)
P.15-21



28週のデータ
P.22-31



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

<第28週コメント> 7月15日集計分

全数報告の感染症

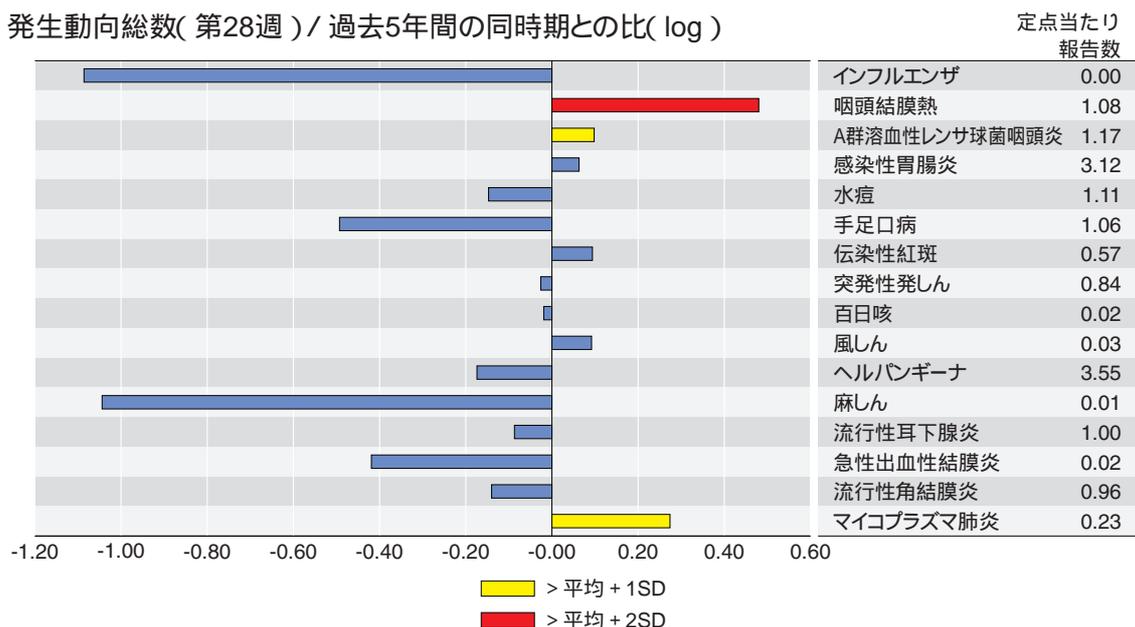
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ 1例(推定感染地域: フィリピン)
細菌性赤痢 7例(推定感染地域: マレーシア2例、インドネシア1例、ベトナム1例、中国(香港)1例、タンザニア1例、疑似症1例)
腸チフス 1例(推定感染地域: パキスタン)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 140例(うち有症者105例)
報告の多い都道府県: 石川県(38例)、熊本県(10例)、大阪府(9例)、愛知県(8例)
血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(41例)、O111 VT1・VT2(33例)、O157 VT2(23例)、O26 VT1(23例)、O157 VT1(3例)、O128 VT1・VT2(1例)、O111 VT1(1例)、その他(15例)
年齢: 10歳未満(44例)、10代(49例)、20代(16例)、30代(9例)、40代(5例)、50代(7例)、60代(7例)、70歳以上(3例)
- 4類感染症: オウム病 2例(推定感染源: ハト/文鳥1例、オウム1例)
デング熱 1例(推定感染地域: タイ)
日本紅斑熱 2例(ともに島根県)
マラリア 2例(ともに熱帯熱__推定感染地域: コートジボワール、パプアニューギニア)
レジオネラ症 3例(51歳、54歳、79歳)
E型肝炎 3例(推定感染地域: 国内2例(うち1例の推定感染源は猪肉)、東南アジア/インド1例)
- 5類感染症: アメーバ赤痢 13例(推定感染地域: 国内10例、インドネシア1例、不明2例、推定感染経路: 経口感染3例、性的接触2例、不明8例)
ウイルス性肝炎 1例(B型__推定感染経路: 不明)
後天性免疫不全症候群 10例(無症候3例、AIDS 4例、その他3例)
推定感染経路: 性的接触4例(異性間1例、同性間3例)、不明6例
推定感染地域: 国内5例、不明5例
ジアルジア症 2例(推定感染地域: 国内1例、インド1例)
梅毒 4例(いずれも早期顕症II期)
破傷風 2例(61歳、62歳)
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例(VanC 1例__菌検出検体: 腹水)
(補)他に、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例の報告があったが、削除予定。また、報告遅れとして急性脳炎1例(1歳、病原体: ムンプスウイルス)があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第28週)/過去5年間の同時期との比(log)

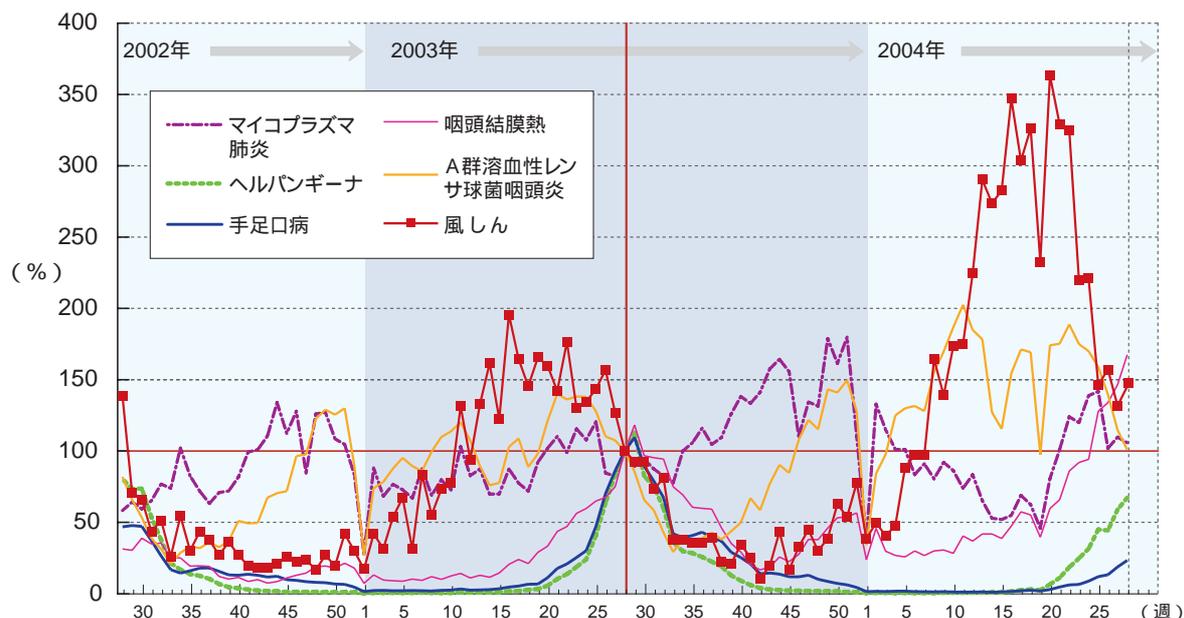


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

小児科定点報告疾患: 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第11週から増加傾向が認められているが、第26週には過去10年間の全ての週と比較して最高値を示し、その後も最高値を更新し続けている。都道府県別では埼玉県(2.3)、福井県(2.0)、新潟県(1.8)、富山県(1.8)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第23週から減少が続いている。しかし、第19週を除き、第7週から継続して過去10年間の当該週と比較して最高値を示している。都道府県別では、愛媛県(2.6)、鳥取県(2.4)、大分県(2.4)が多い。手足口病の定点当たり報告数は第20週から緩やかに増加しており、第28週も増加した。都道府県別では兵庫県(3.6)、福岡県(2.9)が多い。風しんの定点当たり報告数は前週と同値で、都道府県別では27都道府県から報告があったが、いずれも0.2を超えなかった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第20週から増加が続いた後、第26週は微減したが、第27週からは再び増加が続いている。都道府県別では山口県(6.7)、香川県(6.7)が多い。RSウイルス感染症はゼロ報告を含めて34都道府県から報告がなされ、報告数は合計40例であった。

基幹定点報告疾患: 無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は増加し、都道府県別では滋賀県(1.0)、奈良県(0.8)、三重県(0.7)が多い。マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第20週から増加傾向が認められ、第25週をピークに第26週は減少、第27週は増加し、28週は微減した。第22週からは過去5年間の当該週と比較して最高値を示している。都道府県別では福島県(1.0)、長野県(1.0)が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き(第28週)



2003年第28週の定点当たり報告数を100%として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。



注目すべき感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は感染症法に基づく3類感染症として、無症状病原体保有者を含む症例の報告が診断した医師に義務づけられている。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の検便によって偶然発見される場合もあるが、探知された患者と食事を共にした者や接触者の調査などによって発見される場合が多い。

2004年第28週までの累積報告数は1,128例で、過去3年間(2001年1,619例、2002年1,254例、2003年843例)と比較すると2003年より多い程度である(図1)。第28週までの累積報告数を都道府県別にみると、東京都(98例)、岡山県(95例)、大阪府(90例)、石川県(64例)、兵庫県(58例)が多い。第28週に限ると、石川県(38例)、熊本県(10例)、大阪府(9例)が多く、石川県からの報告の殆どは、高校の修学旅行に関連したO111 VT1・VT2の報告であった。

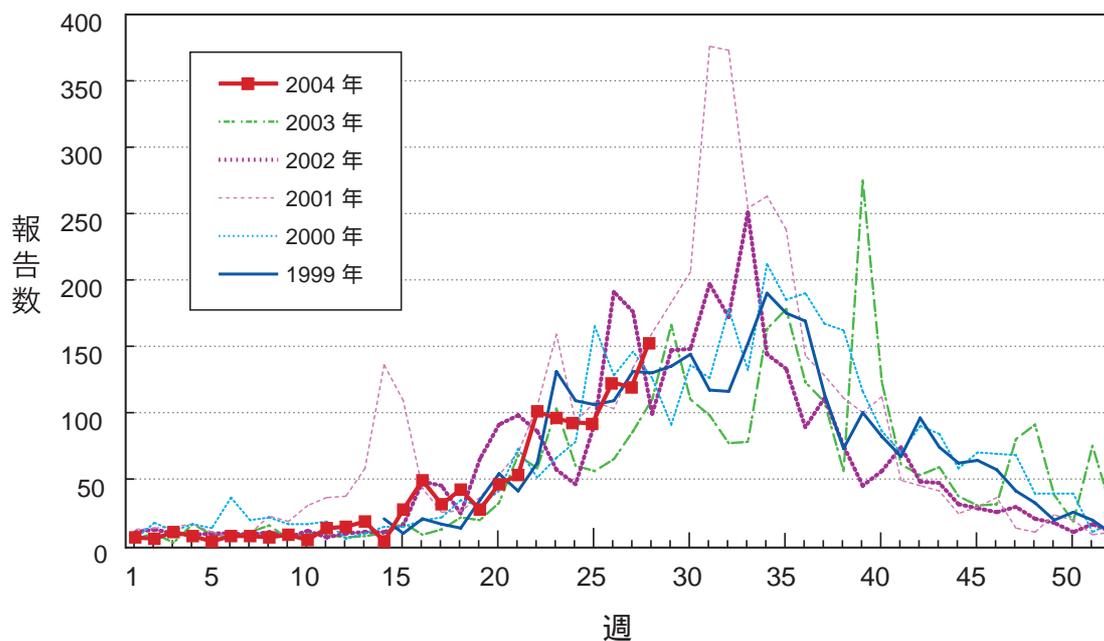
第28週までの累積報告数を血清型・毒素型別にみると、O157 VT1・VT2 368例(33%)、O157 VT2 268例(24%)、O26 VT1 218例(19%)の順に多い。また、年齢群別(0～69歳までは10歳毎、および70歳以上)にみると、10歳未満418例、10代201例、20代153例、30代90例、40代68例、50代88例、60代54例、70歳以上56例となっている。

本年はこれまで報告時点での死亡例はないが、溶血性尿毒症症候群(HUS)が19例報告されている。それらの血清型・毒素型はO157 VT2(10例)、O157 VT1・VT2(6例)、O26 VT1・VT2(1例)、その他2例であった。年齢群別にみると、10歳以下が14例(うち、5歳以下は8例)、60代1例、70歳以上4例であった。性別では男性5例、女性14例と女性に多かった。死亡例やHUSの合併については、届け出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があり、このような発生があった場合には修正報告していただくことをお願いしている。

例年報告のピークは夏季にあるので、一層の注意が必要である。また、本年においても、保育所などに関連した集団発生の報告が散見されている。保育所などでの人から人への感染を防ぐために、普段からの手洗い(特にオムツ交換時)、園児への排便後・食事前の手洗い指導を徹底することが重要である。さらに、夏季には簡易プールなどの衛生管理にも注意を払う必要がある。

* 病原体情報については7ページを参照して下さい。

図1. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の発生状況





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

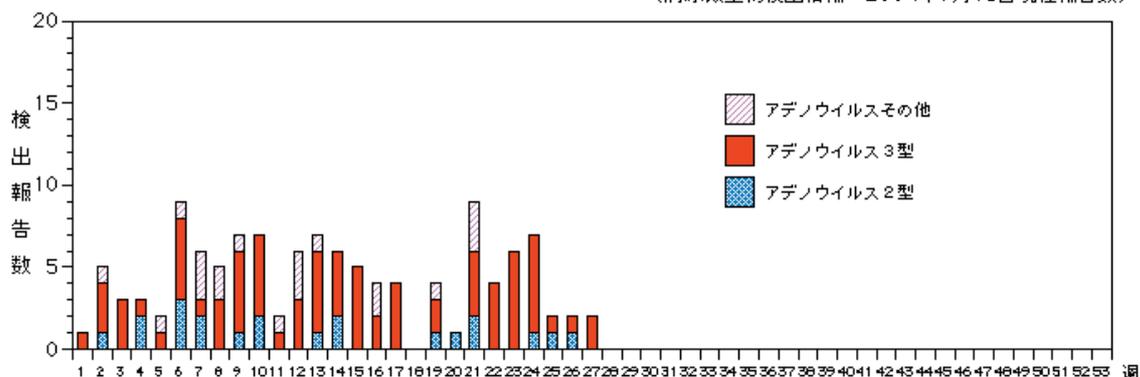
(2004年7月16日現在報告分)

咽頭結膜熱患者から分離されているアデノウイルス 2004年

これまでに計119件のアデノウイルスが報告されており、そのほとんどは咽頭ぬぐい液から分離されている。年初よりアデノウイルス3型(Ad3)の報告が目立ち、Ad3は九州・沖縄地方を除いた20都道府県から78件(兵庫県22、広島県11、宮城県8、千葉県4、愛知県4、埼玉県、東京都、長野県、奈良県、島根県各3など)が報告されている。次いでAd2が10県から21件(宮城県4、静岡県、兵庫県、高知県各3、愛知県、広島県各2、秋田県、長野県、島根県、福岡県各1)、Ad1が4県から8件(広島県4、島根県2、宮城県、長野県各1)、Ad5が4県から7件(長野県4、大阪府、広島県、福岡県各1)、Ad4が3件(宮城県、愛知県、大阪府各1)、Ad6が2件(広島県、福岡県各1)報告されている。

週別咽頭結膜熱患者からのアデノウイルス分離報告数、2004年

(病原微生物検出情報: 2004年7月16日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



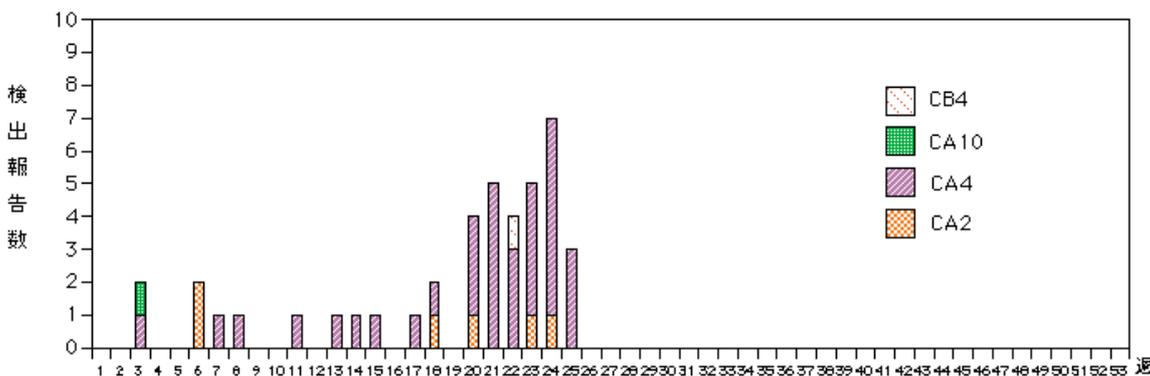
Infectious Agents Surveillance Report

ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス 2004年

本年(2004年)は、年初よりA群コクサッキーウイルス(CA)4型が報告されており、第19週までに9件が断続的に報告されていたが、第20～25週(5/10～6/20)の週別報告数は3、5、3、4、6、3と増加している。これまでに計33件(大阪府10、島根県4、愛媛県4、広島県3、愛知県、京都府、奈良県各2、高知県、福岡県、新潟県、山形県、東京都、秋田県各1)が報告されている。次いでCA2が6件(秋田県2、愛媛県、福岡県、島根県、熊本県各1)、B群コクサッキーウイルス(CB)4型が1件(徳島県)で、昨年(2003年)最も報告の多かったCA10は、第3週に高知県から1件報告されているのみである。その他に、エコーウイルス(E)7型が1件(山形県)報告されている。

週別ヘルパンギーナ患者からの主なコクサッキーウイルス分離報告数、2004年

(病原微生物検出情報：2004年7月16日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2004年

検出総数は227件で、うちO157が165件、O26が35件、その他の血清型が27件報告されている。第22～27週(5/24～7/4)の週別報告数は、O157が16、12、12、10、15、6、O26が6、0、5、1、0、0である。第26週(6/21～)以降では、O157が第26週に京都府から6件(VT1&2が5、VT2が1)、奈良県から3件(すべてVT1&2)、福岡県から3件(すべてVT1&2)、大阪府から2件(VT2が1、VT1&2が1)、北海道から1件(VT1&2)、第27週に福岡県から4件(すべてVT1&2)、静岡県から1件(VT1&2)、京都府から1件(VT1&2)が報告されている。この他に、第26週に福岡県からOUTが1件(VT1)、第27週に静岡県からO103が1件(VT1)報告されている。



2003年1月～2004年7月に都内で発生した髄膜炎菌性髄膜炎について

2003年1月から2004年7月までに、東京都内で8人の髄膜炎菌性髄膜炎患者の発生報告があった。都内の本疾患患者は1998年に4人、1999年に5人と発生が多かったが、その後は2000年に1人、2001年に2人、2002年に1人であった。しかしながら、2003年に4人、今年(2004年)7月までに昨年と同じ4人の報告があり、増加傾向が見られている。2003年には、髄膜炎患者の他に、喀痰や咽頭に本菌を保菌し、リンパ節腫脹を呈した患者も報告されている。また、2004年1月に発症した患者の家族を検査したところ、父親の咽頭拭い液から菌が分離されたが、幸いにも無症状であった。

髄膜炎菌性髄膜炎は一般的には15歳以下で、乳児の発生が多いと言われている。届け出のあった髄膜炎患者の年齢は、1歳未満:2人、10歳代:1人、20歳代:2人、50歳以上:3人で、届け出報告の中には60～70歳代の高齢者もみられた。男女比は男性:4人、女性:4人で、差は認められなかった。また、感染地は国内:7人、不明:1人であった。

髄膜炎菌はその莢膜多糖体の抗原性により、13の血清型に分類される。髄膜炎患者より分離された株の血清型はB群:3、Y群:2、C群:1、UT(型別不能):2であったが、UTの1株はPCRによる遺伝子検査の結果、Y群遺伝子を保有していた。前述の髄膜炎患者の父親由来株は、患者と同じB群であった。血清型C群菌により発症した患者は、咽頭炎を発症後3日目に電撃性紫斑病を呈し、全身状態が悪化した。紫斑の形状から髄膜炎菌性と早期診断され、救命されている。

一方、2003年に届け出された髄膜炎菌性髄膜炎患者は、全国で18人であった。また、2004年は27週までに青森、茨城、埼玉、岐阜、鳥取、山口、宮崎が各1人、愛知が2人、神奈川が3人、東京が4人の計16人が報告されている。2003年は30週まで全国において13人の発生が報告されたが、30週以降52週までの報告は5人であった。昨年と同様であれば、2004年後半の報告数は減少すると予想される。しかし、世界的にみるとアフリカなどで、髄膜炎菌性髄膜炎の患者発生報告が多く見られており、海外からの菌の持ち込みや、健康保菌者の存在、米国や英国では集団感染の報告もあることから、今後とも本症の発生動向を監視していく必要がある。

東京都健康安全研究センター 微生物部

遠藤美代子 畠山 薫 奥野ルミ 向川 純 柳川義勢 諸角 聖

(IASR2004年8月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

帰国者におけるコレラ患者発生に係る情報提供

感染症法に基づき、本年6月、国内においてコレラ発症者が18名報告されたが、うち14名がフィリピンで感染したと思われる事例であった。

通年、患者発生報告のピークが7月～9月であることを考慮すると、今後さらなる増加が危惧されるため、検疫所においてコレラ流行地への渡航者に対し、情報提供と注意喚起が行われている。

以下、参考(平成16年7月16日事務連絡)

事務連絡

平成16年7月16日

各検疫所長 殿

検疫所業務管理室長

帰国者におけるコレラ患者発生に係る情報提供について

本年6月、国内においてコレラ発症者が18名報告されており、うち14名はフィリピンで感染したと思われま

す。通年、患者発生報告のピークは7月～9月であることを考慮すると、今後、さらなる増加が危惧されます。よって、コレラ流行地への渡航者に対し、一層の情報提供、注意喚起をお願いします。

(参考)海外におけるコレラの流行について

通常、コレラは広く世界に分布しており、特に熱帯、亜熱帯地域に多くみられます。本年6月に、18名の海外帰国者の方について、コレラ発生の報告があり、そのうち14名がフィリピンで感染したと思われま

す。現在のところ、食した物など疫学的な関連性は確認されておりません。通常、患者発生の報告が最も多いのは、7月～9月です。したがって、今後、さらなる患者発生の増加が危惧されますので、渡航の際には十分ご注意ください。

海外滞在時及び帰国時に、下痢や腹痛、発熱等が生じた場合には、検疫時にすすんで申告下さい。

コレラは1日(数時間)～5日間の潜伏期を経て、突然激しい下痢や嘔吐が発症する腸管感染症です。通常、腹痛や発熱はみられません。水様便は便臭はなく、重症の場合は米のとぎ汁様を呈します。そのため、大量の水分と電解質が失われ、脱水、虚脱に陥ることがあります。近年は、こうした定型例は極めて少なく、軽症あるいは無症状に経過する例がほとんどで、細菌学的検査をしなければ診断が困難です。

しかし、感染力は強く、胃腸の弱い人や高齢者、乳幼児では重症化し、死亡する例もあることから、油断はできません。



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

ボリビアでのボリビア出血熱流行

PAHO/EID 2004 Vol.2 No. 22 2004年7月1日

ボリビア保健スポーツ省、全国保健情報システムは、ボリビア出血熱常在地区であるItenez州Beni県、Huacareje地区、およびMagdalena地区(locality)で、ボリビア出血熱(BHF)患者2名の発生を報告した。

患者の年齢は30歳と16歳で、2004年6月11日から17日の間に死亡した。研究所は6月23日に、1例目は血清学的検査により、Machupoウイルス感染の診断が確定したことを報告した。2例目の検査は進行中である。本日までに、上記地区で新たな患者発生は報告されていない。

保健当局は制圧対策を実施し、げっ歯類の捕獲、流行地での積極的患者探索、感染常在地区の都市部における殺鼠剤の使用を行っている。

ダニ媒介性脳炎(TBE)

Eurosurveillance Weekly Vol. 8, Issue 26 2004年6月24日

<<http://www.eurosurveillance.org/ew/2004/040624.asp>>

チェコ共和国:

チェコ共和国の人口は約1,000万人である。2003年には、TBEの発生率は人口10万人当たり5.9人であった。発生率は、プラハ南部のCeske Budejovice市付近で高い。同国西部のピルゼン市近郊では常時高い発生率が続いている。最近、ボヘミア州北部でTBEの局在発生が見つかった。

同国西部では、オロモーツ市周辺で発生率が高い。TBEの患者は4月から11月に報告されている。

1970年以来、TBE発生率は2度変化した。1980年代に発生率は約30%減少したが、1993年にはそれまでに比べて倍増し、1980年以前のレベルと比較すると50%増になった。

TBEの感染リスクについては、米国とオーストリアから報告されている。前者は、コソボの高度流行地域で演習を行った米軍部隊の感染リスクを評価したもので、TBEウイルス感染率は、1,000人・月の暴露につき0.9人であった。また、後者はオーストリア南部の高度汚染地域(Steiermark/Styria)にワクチンを接種せずに4週間滞在した旅行者の評価で、TBE感染リスクは1万人・月当たり1人であった。

ラトビア:

ラトビアでは1955年以後、TBEが届出伝染病に指定されている。1993年に、年間発生率は過去20年間の平均レベル(人口10万人対約8名)より4倍近くに増加し、1994年と1995年には、人口10万対患者53名と最高に達した。1999年以後発生率は明らかに低下し、2002年には6.5名に低下したが、2003年には人口10万対15.7名に再度増加した。過去10年間でみると、TBE患者の約60%が髄膜炎を発症、約30%が発熱のみで、約10%がより重症な臨床経過である髄膜脳炎を発症した。

ラトビアにはリシナス・マダニ *Ixodes ricinus* とシュルツェ・マダニ *Ixodes persulcatus* の2種類のマダニが生息する。リシナス・マダニは季節的活動性に関して2峰性のピークを示し、ラトビア西部と中央部に生息する。シュルツェ・マダニは春にのみ活動性のピークを示し、ラトビア東部では主要なものとなっている。監視データによれば、マダニ個体数は1994年以降増加し、リシナス・マダニの活動性のピークは1998年と2000年に記録されたが、これは疫学パターンとは正確には合致していない。

野外で採集されたマダニのTBEウイルス(TBEV)保有率は、1995年(28.4%)、1996年(10.8%)、2002年(9.2%)の順で高かった。これら3つの年度とは別に、1973年以後の全観察期間に野外で採集されたマダニにおける平均年度別TBEV保有率は、約3%である。ヒトの血液を多量に吸血したマダニを住民がワクチン接種所(vaccination service)に持ち込んでの検査が、1998年以後開始されている。これらのマダニにおけるTBEV保有率はさらに高く、約30%であることが知られている。ドイツとスウェーデンのウイルス学者との共同研究で、マダニや患者血清検体から分離されたTBEVのタイピングの結果、これらのウイルスには極東型亜型株と西部ヨーロッパ亜型株の双方が混在し、これまでに記載された *Vasilchenko* 株、*Neudoerfl* 株、*Sofyn* 株と遺伝子相関性が高いことが判明した。

リトアニア:

2003年には、リトアニアでのダニ媒介性脳炎(TBE)の流行状況は極めて異常であった。発生率(患者763名、人口10万対22名)は過去10年間の平均発症率の2倍であり、1960年代末に届け出が開始されて以来に記録された、最悪の年間発生率となった。この発生率はまた、2003年の全バルト諸国中の最高値でもあった。TBEによる死亡者4名が報告された。TBEは通常マダニ刺咬により伝播されるが、2003年の患者22名(4件の集団発生事例)は、良く知られた別の感染伝播経路である、未殺菌ヤギミルク飲用により罹患した。

1993年以来、リトアニアでのTBE発生率は急激に人口10万対5名以上へと増加したが、これは、それ以前の20年間に比べ10倍の増加であった。昨年の劇的な増加の前に、1998年以降に一時1993年レベル近くまでの低下が認められたものの、1997/98年にはさらに3倍の増加が発生した。2003年の高い発生率については、この特別な年にダニの個体数増加があったことで説明できる可能性がある。

TBEには厳密な季節性変動が認められるが、おそらく、ダニ活動性とヒトが森林地区を訪れることの季節性変動が主な原因と考えられる。2003年には、大部分のTBE患者は例年通り、9月および10月中に報告された。全届け出患者の約80%に相当する、TBE発生率の最高値は毎年、リトアニアの北部および中央部で、中でもKaunas, PanevezysおよびSiauliaiの3郡で報告される。2003年には、これらの地区での発生率は変化がなかったが、その他多くの郡での発生率がかなり高かった。全44地域中8地域が、平均の発生率よりも2~5倍高い発生率を報告した。発生率が最も高かったのはPanevezys郡で、人口10万対100名であった。

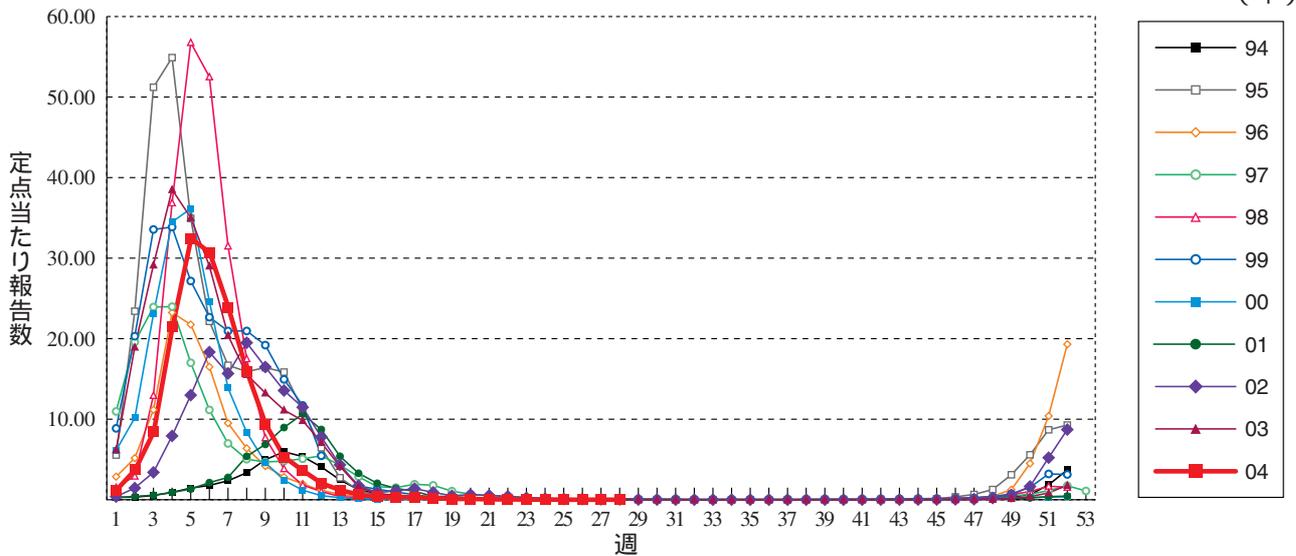


感染症の話

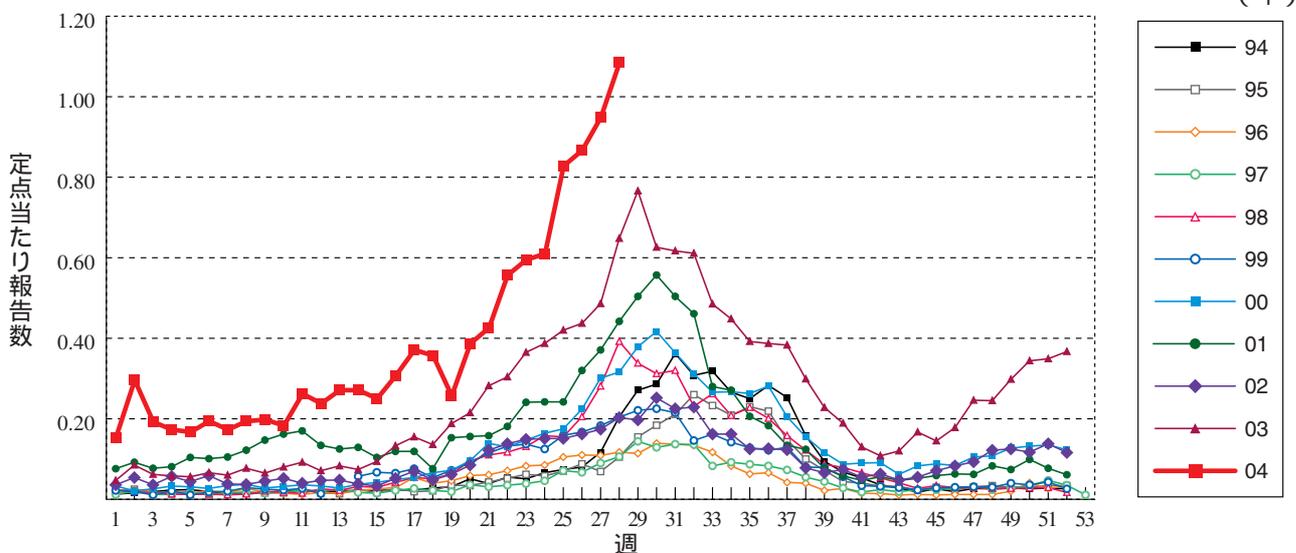
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(28週)

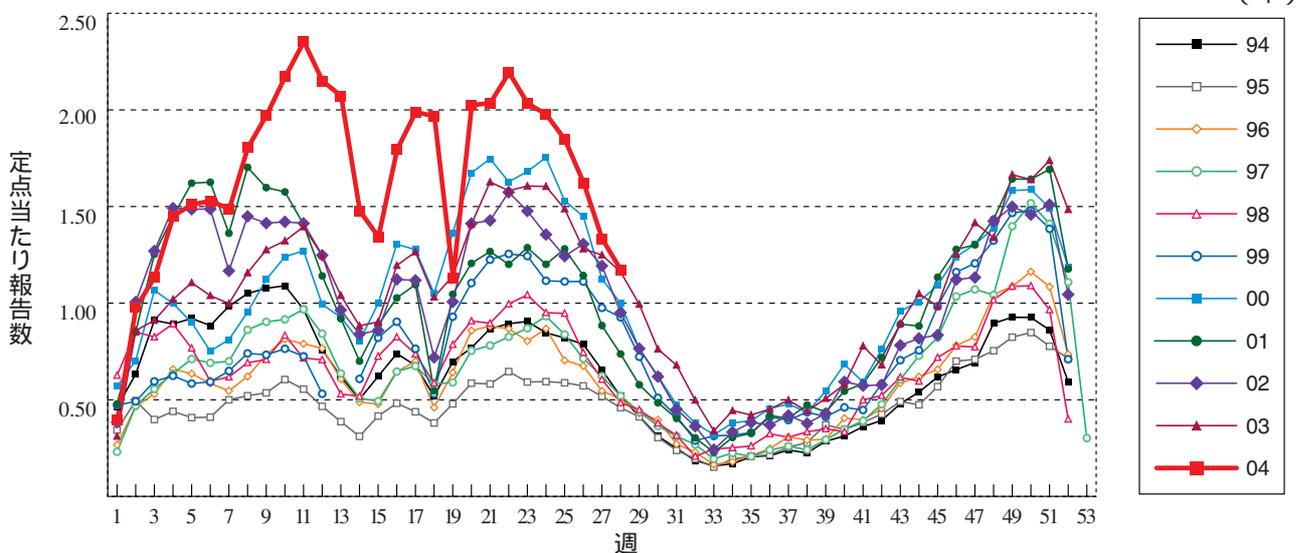
インフルエンザ



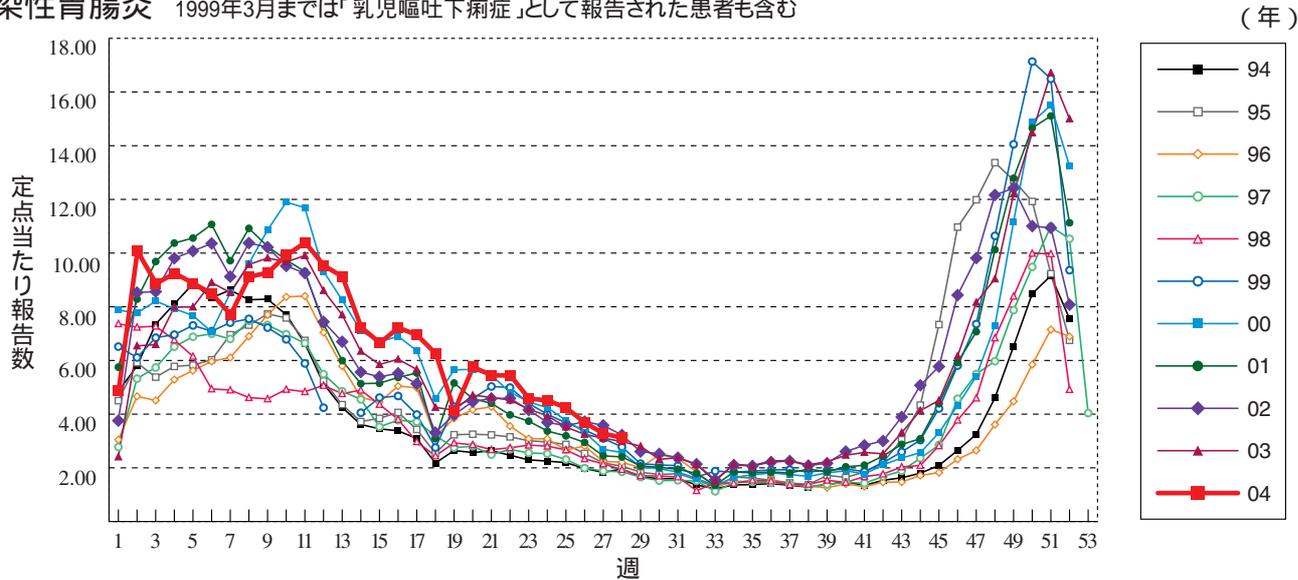
咽頭結膜熱



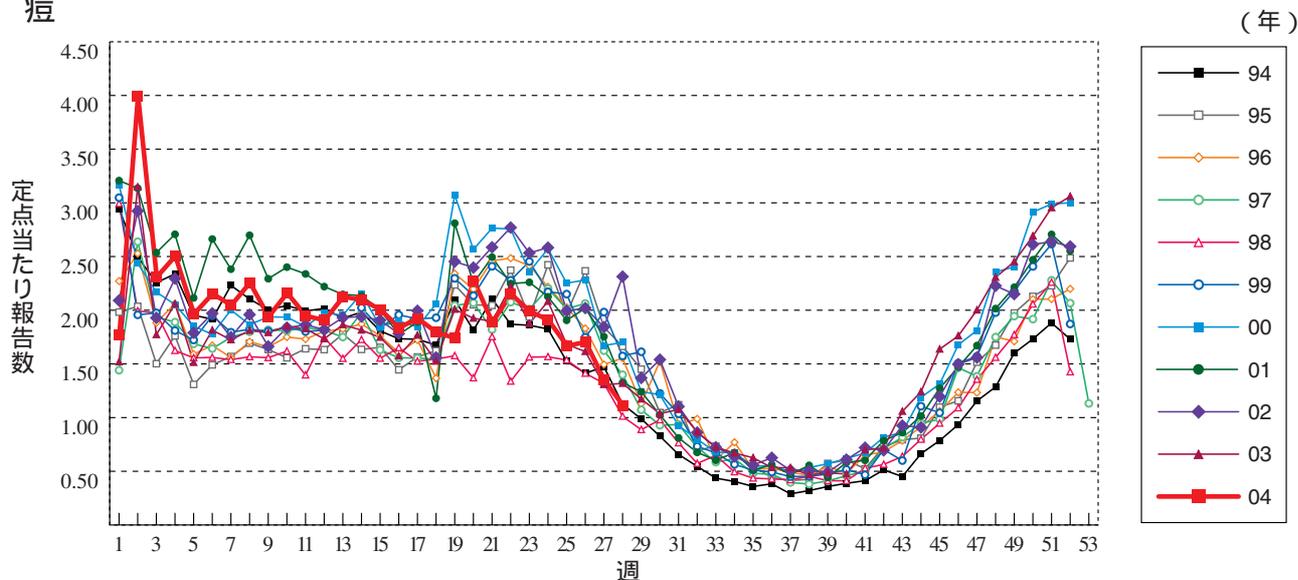
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



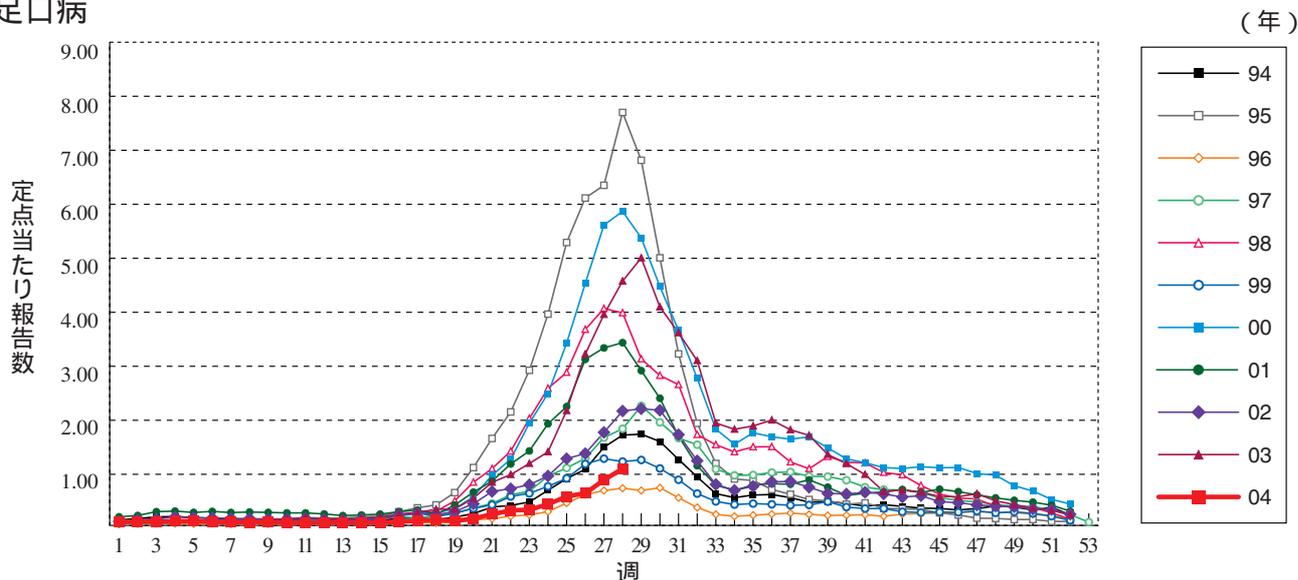
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



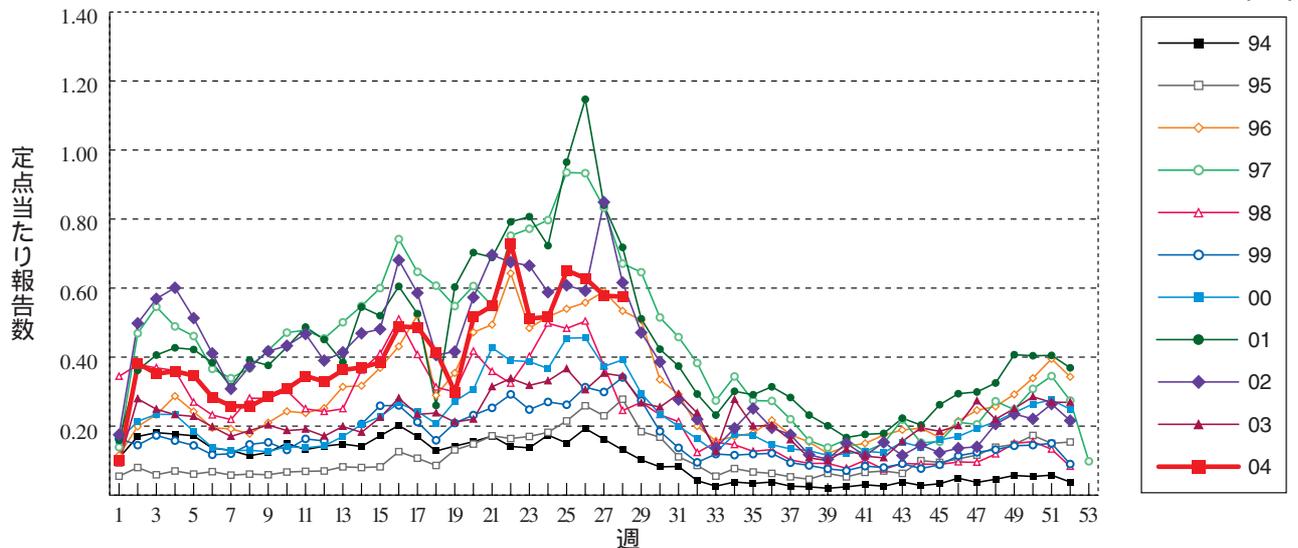
水痘



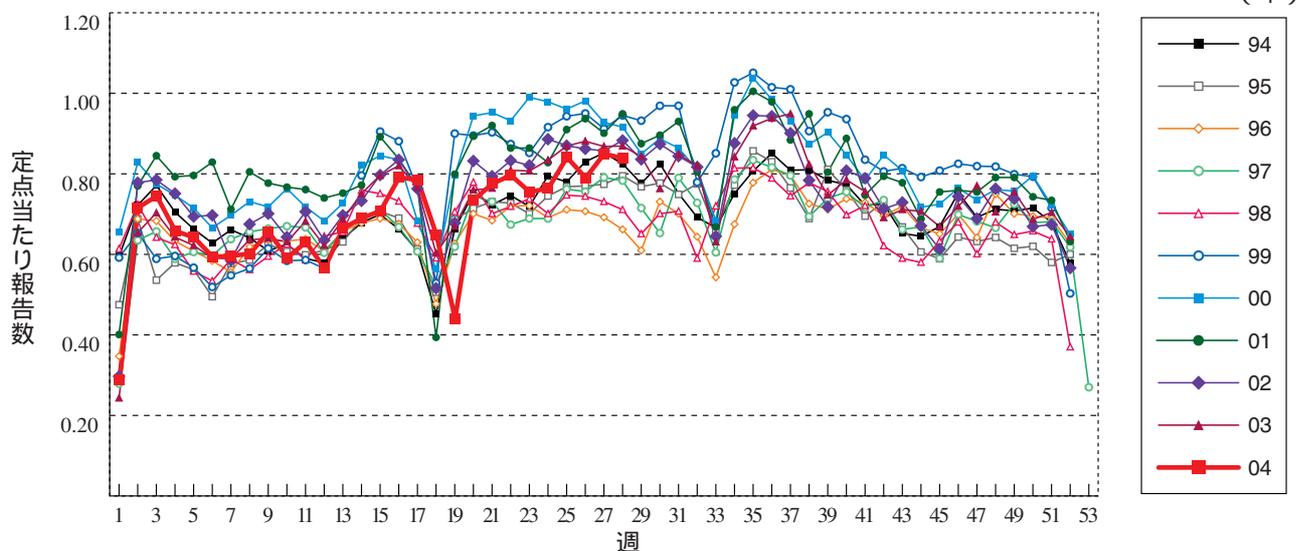
手足口病



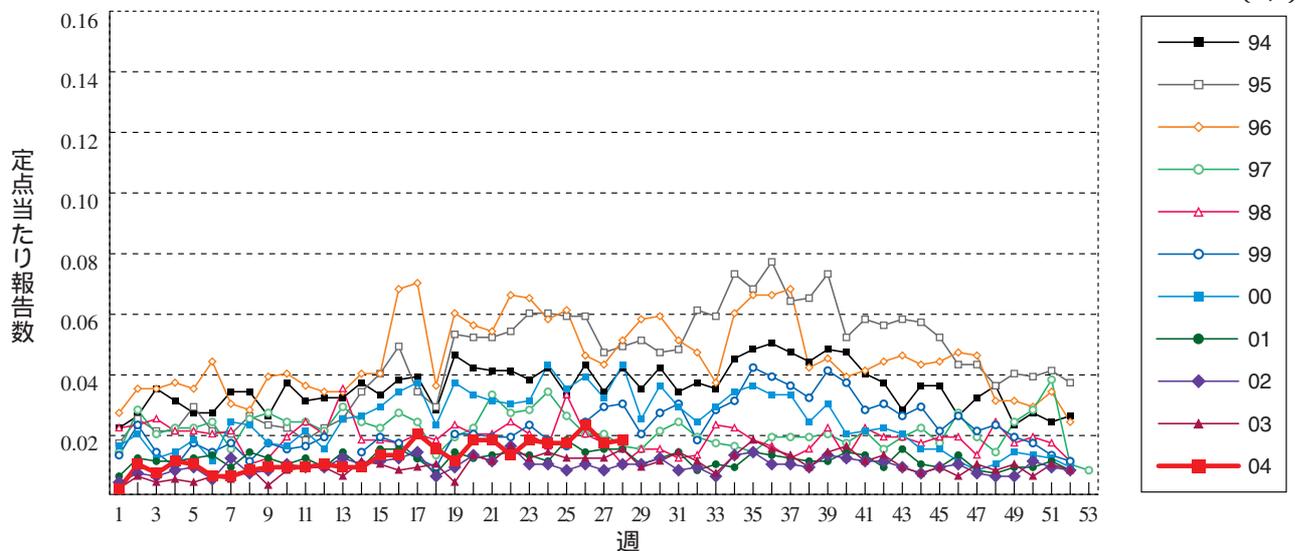
伝染性紅斑



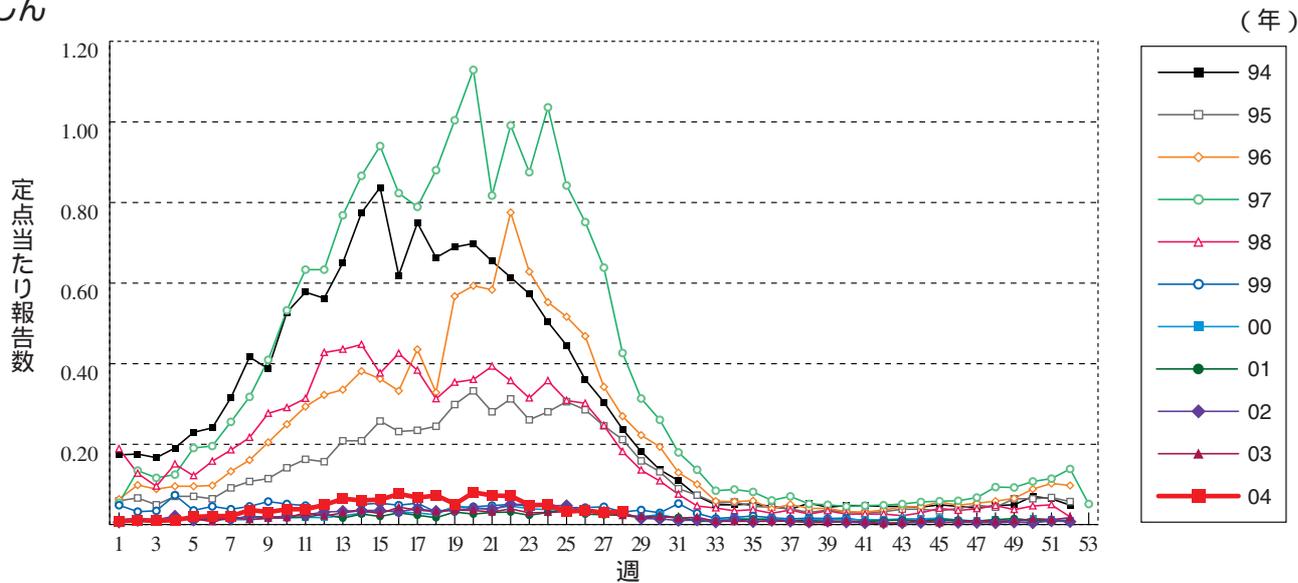
突発性発しん



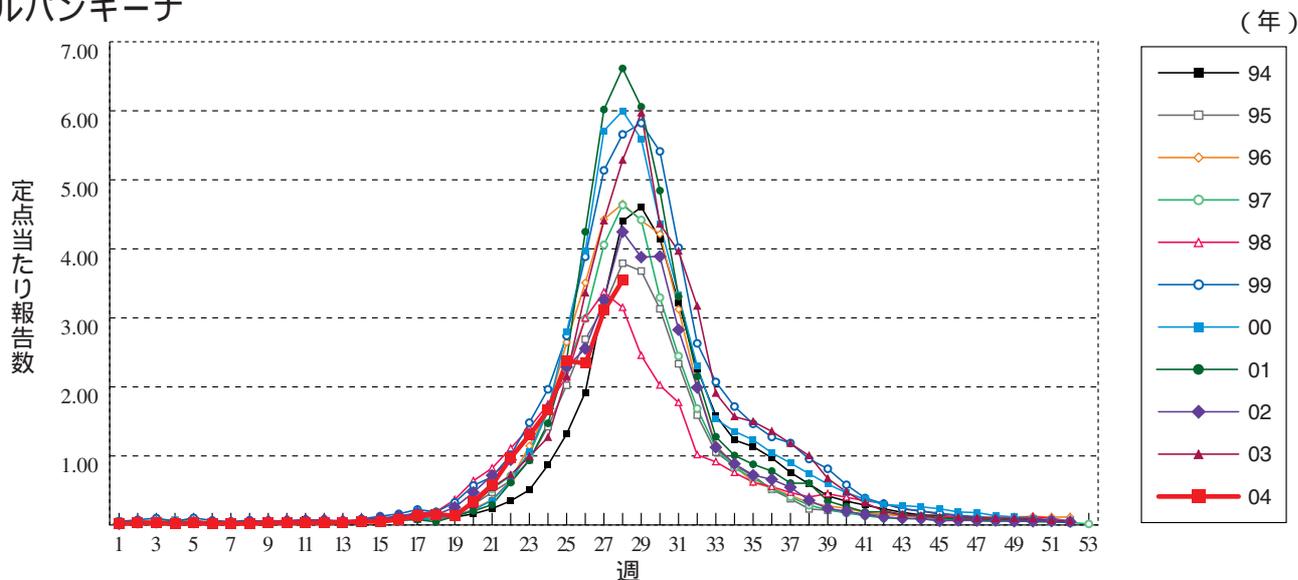
百日咳



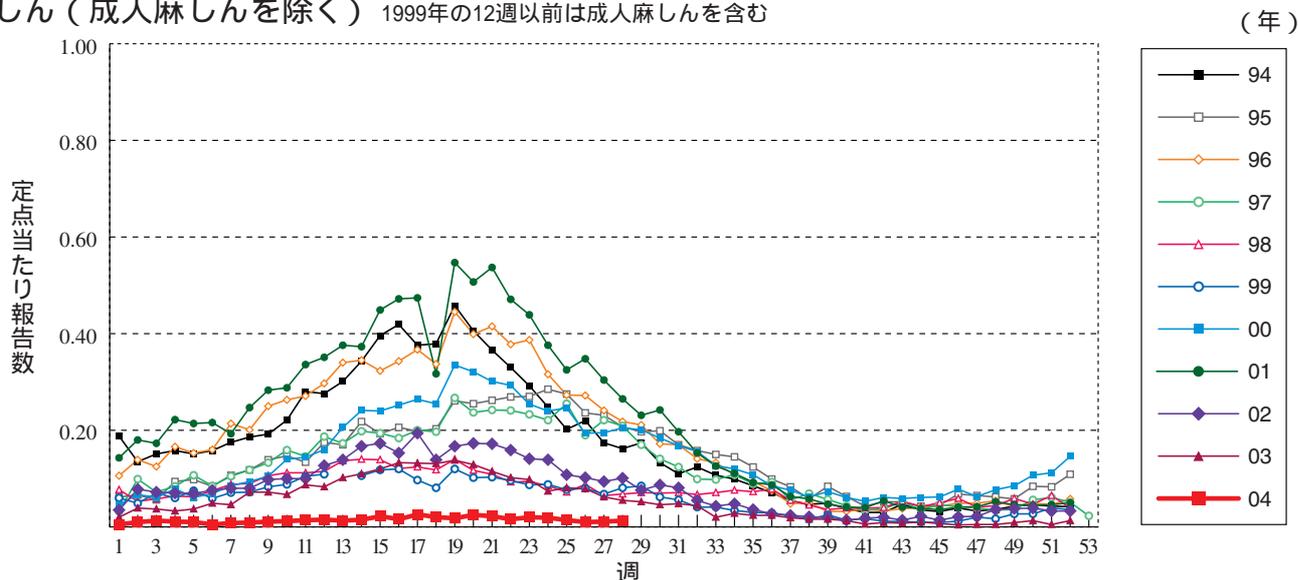
風しん



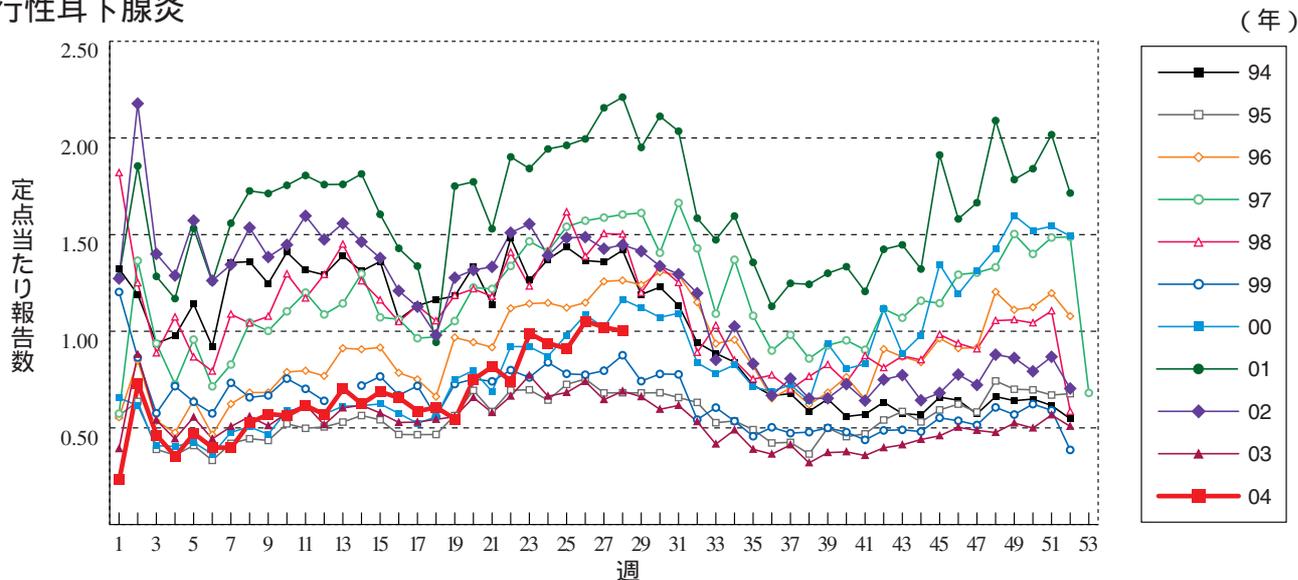
ヘルパンギーナ



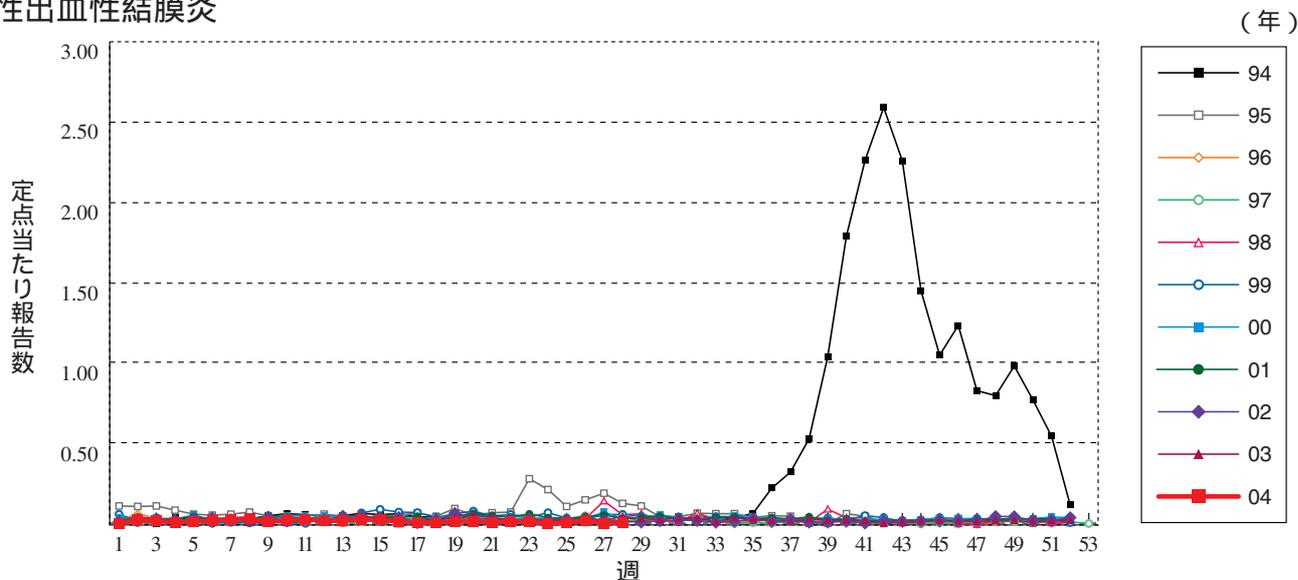
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



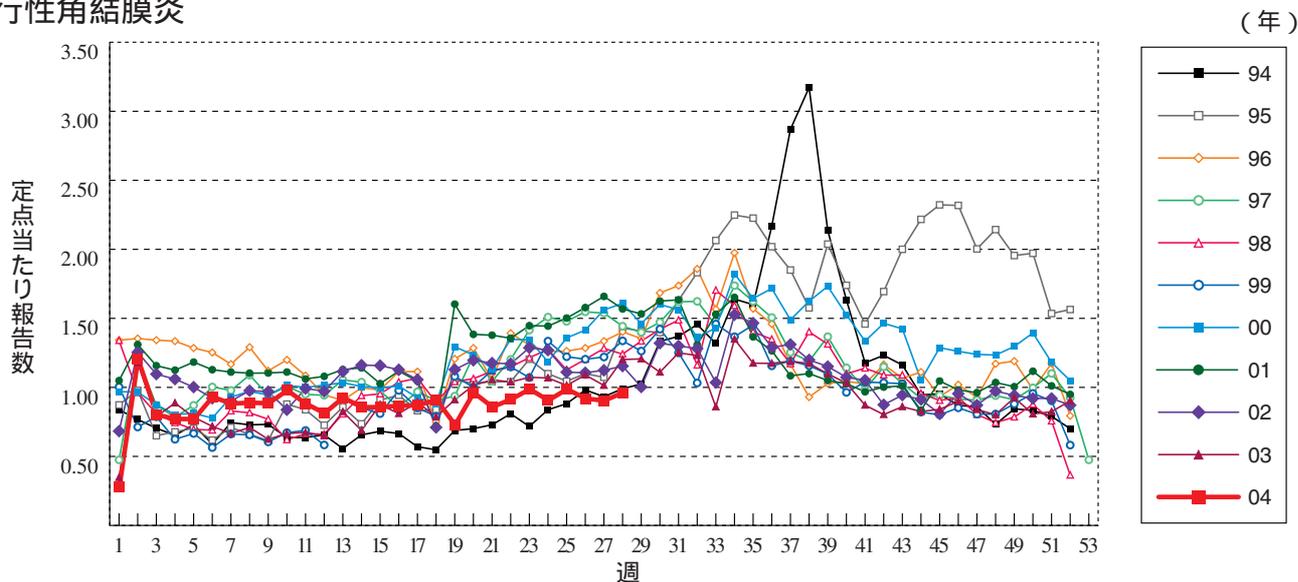
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

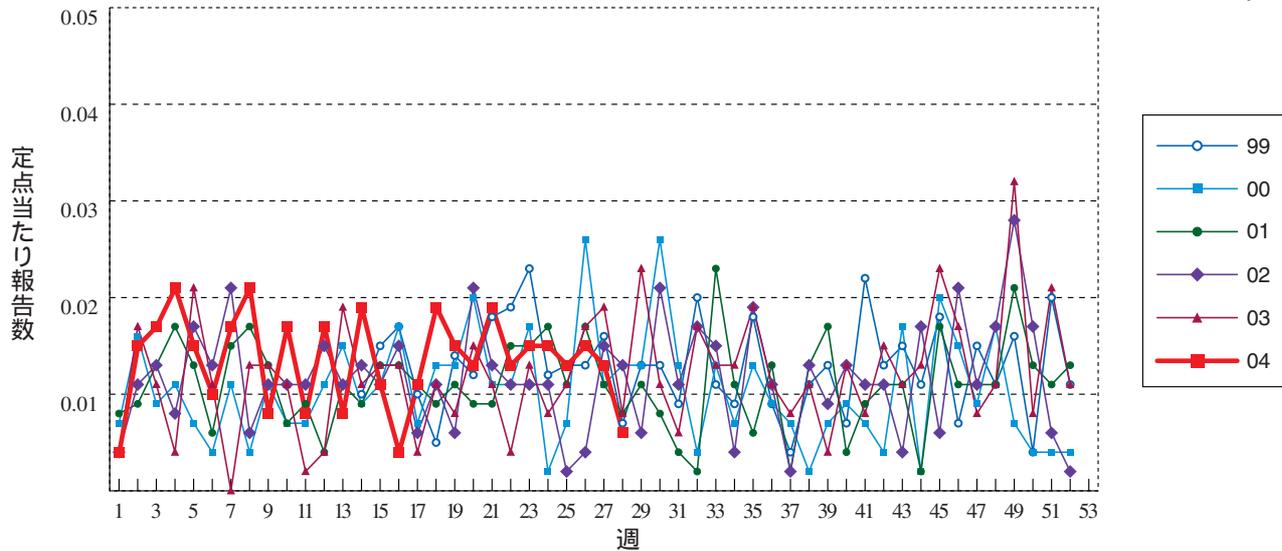


流行性角結膜炎



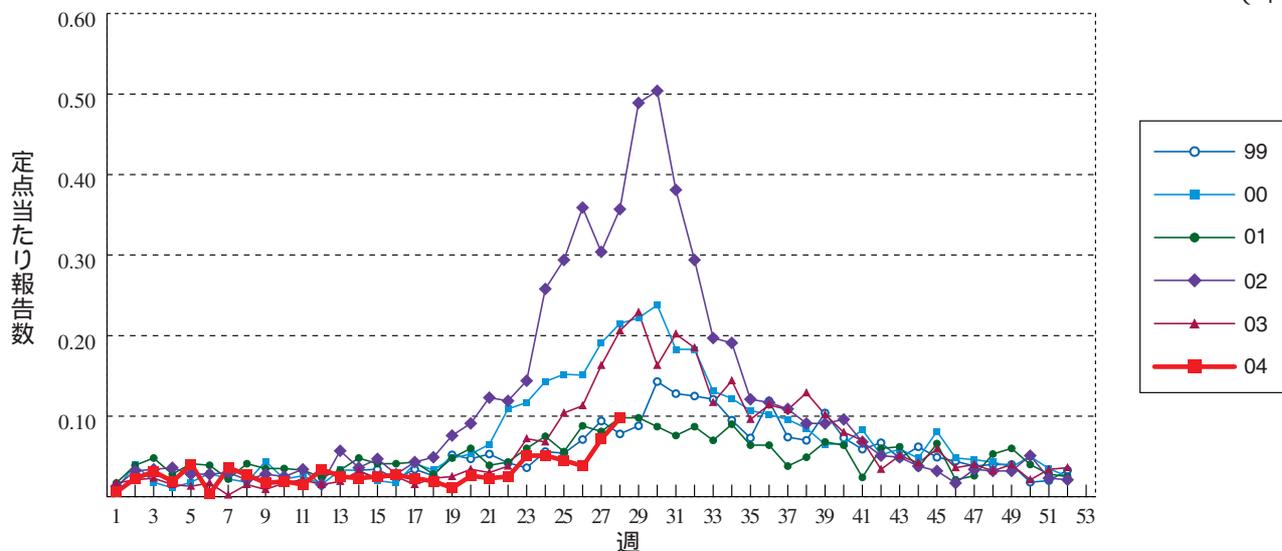
細菌性髄膜炎

(年)



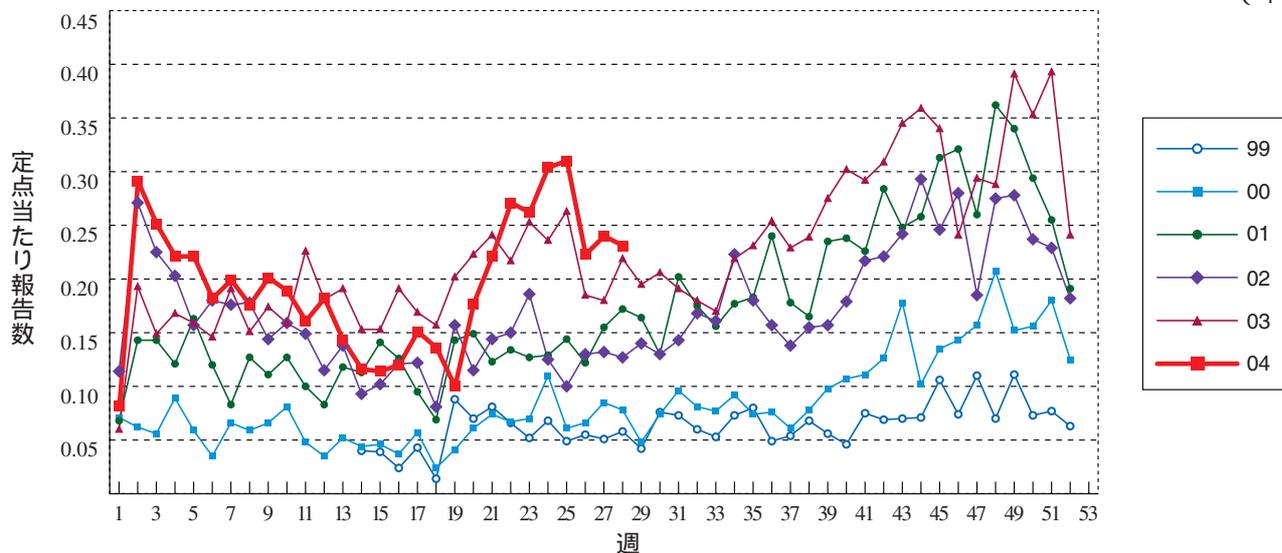
無菌性髄膜炎

(年)



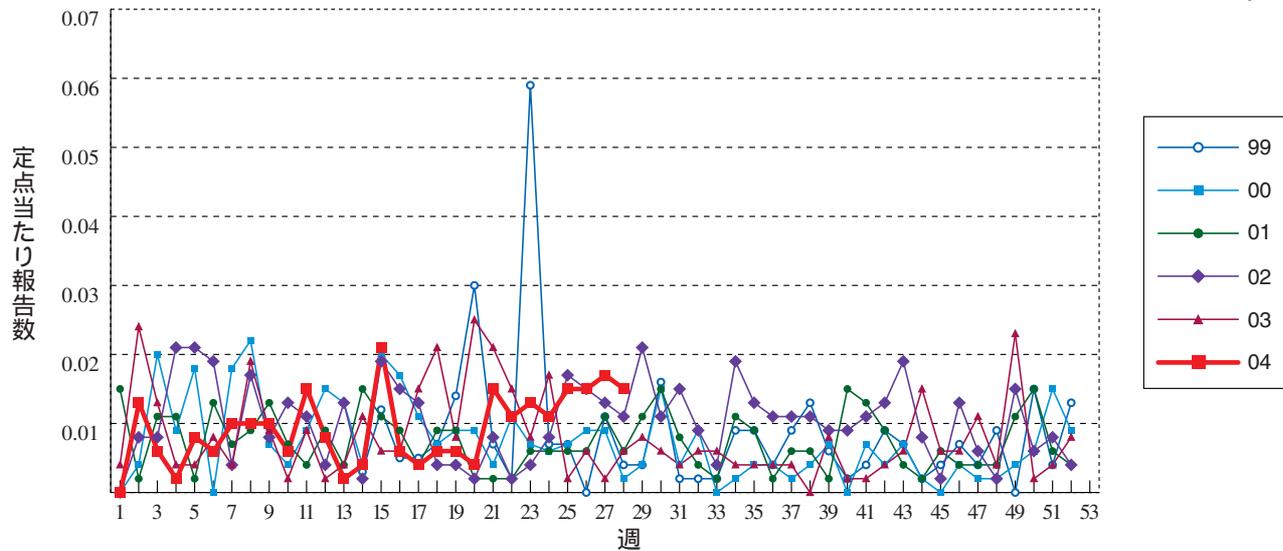
マイコプラズマ肺炎

(年)



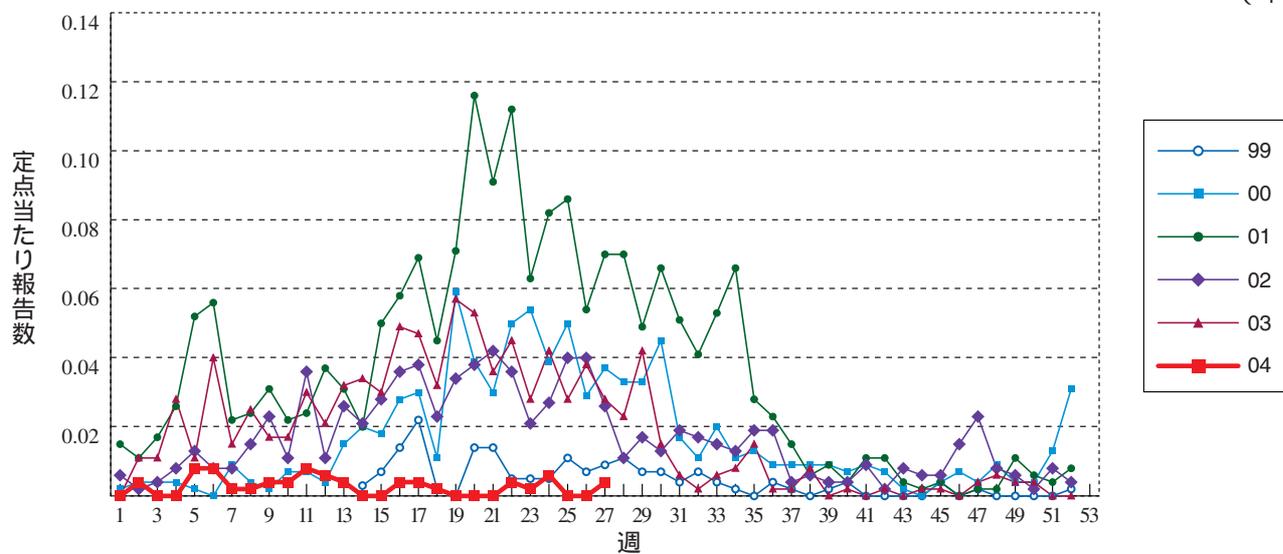
クラミジア肺炎（オウム病を除く）

(年)



成人麻疹

(年)





28週のデータ

注)表中の報告数は7月15日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成16年28週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	27	7	243	1	32	-	41
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	1	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	12	-	1	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	14	-	3	-	5
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	64	-	8	-	10
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	2	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	4	-	2	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	1	-	4
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	26	-	3	-	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	9	1	3	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	1	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年28週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	140	1128	13	308	-	18	-	-	2	29	-	-	1	150
北海道	-	-	-	-	2	19	-	5	-	18	-	-	-	1	-	-	-	5
青森県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	3	9	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	3	13	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	1	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	3	15	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	1	5	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	2	12	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	1	38	-	13	-	-	-	-	1	1	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	3	52	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
東京都	-	-	-	-	7	98	1	75	-	-	-	-	1	2	-	-	-	28
神奈川県	-	-	-	-	2	16	-	18	-	-	-	-	-	2	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	1	6	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	7	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	38	64	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	2	18	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	11	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	2	23	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
静岡県	-	-	-	-	4	14	1	14	-	-	-	-	-	3	-	-	1	2
愛知県	-	-	-	-	8	50	1	29	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	2	23	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	1	5	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	21	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大阪府	-	-	-	-	9	90	1	30	-	-	-	-	-	5	-	-	-	16
兵庫県	-	-	-	-	5	58	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
奈良県	-	-	-	-	-	27	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	4	7	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	2	95	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	-	1	26	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	3	17	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	23	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	49	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
高知県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	5	50	1	11	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	6	12	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	26	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	10	25	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	2	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	1	17	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	5	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	20	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年28週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	5	-	-	-	6	-	81	1	37	10	549	-	2	2	41	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	1	5	-	-	-	1	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	13	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	1	1	20	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	4	-	24	-	-	1	4	-	-
東京都	-	1	-	-	-	5	-	6	-	5	2	216	-	-	-	11	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	37	-	1	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	3	-	-	-	2	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	20	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	2	14	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	36	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	5	-	4	1	57	-	-	-	4	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	8	-	-	-	4	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	2	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	3	-	8	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年28週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	16	-	5	-	-	-	94	1	9	2	18	-	1	4	253	2	44
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	2
青森県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	1	4	-	2
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	6	-	2
東京都	-	4	-	3	-	-	-	5	1	7	-	-	-	-	2	33	-	1
神奈川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	7	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	18	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34	-	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	6	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-	6	-	1	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	9	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	6	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	12	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	10	-	-	-	1	-	-	-	4	1	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	2	-	-	-	3	-	3
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年28週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	28	-	-	-	-	-	-	-	-	2	29	-	2	3	70
北海道	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	2
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	10
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年28週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	3	20	-	-	-	88	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	1	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年28週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	1	-	38	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年28週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	11	0.00	3296	1.08	3559	1.17	9491	3.12	3381	1.11	3221	1.06	1746	0.57	2547	0.84	55	0.02
北海道	-	-	212	1.48	288	2.01	250	1.75	259	1.81	188	1.31	45	0.31	83	0.58	-	-
青森県	-	-	45	1.07	28	0.67	45	1.07	45	1.07	2	0.05	9	0.21	17	0.40	-	-
岩手県	-	-	45	1.22	43	1.16	72	1.95	66	1.78	7	0.19	13	0.35	27	0.73	5	0.14
宮城県	-	-	52	0.88	82	1.39	267	4.53	85	1.44	4	0.07	70	1.19	78	1.32	-	-
秋田県	-	-	21	0.60	33	0.94	83	2.37	30	0.86	4	0.11	3	0.09	21	0.60	-	-
山形県	-	-	26	0.87	66	2.20	80	2.67	31	1.03	2	0.07	22	0.73	22	0.73	1	0.03
福島県	-	-	79	1.65	67	1.40	198	4.13	79	1.65	8	0.17	16	0.33	35	0.73	5	0.10
茨城県	-	-	95	1.28	87	1.18	127	1.72	86	1.16	106	1.43	20	0.27	53	0.72	-	-
栃木県	-	-	46	1.00	46	1.00	99	2.15	39	0.85	15	0.33	26	0.57	31	0.67	-	-
群馬県	-	-	70	1.13	84	1.35	178	2.87	110	1.77	13	0.21	80	1.29	49	0.79	1	0.02
埼玉県	-	-	362	2.25	251	1.56	511	3.17	171	1.06	274	1.70	202	1.25	140	0.87	1	0.01
千葉県	-	-	167	1.27	203	1.55	356	2.72	186	1.42	217	1.66	159	1.21	97	0.74	3	0.02
東京都	-	-	154	1.08	100	0.70	406	2.86	89	0.63	199	1.40	85	0.60	88	0.62	-	-
神奈川県	3	0.01	292	1.42	214	1.04	594	2.88	214	1.04	273	1.33	196	0.95	192	0.93	3	0.01
新潟県	-	-	107	1.78	76	1.27	153	2.55	80	1.33	57	0.95	74	1.23	52	0.87	2	0.03
富山県	-	-	52	1.79	46	1.59	119	4.10	36	1.24	34	1.17	26	0.90	21	0.72	-	-
石川県	-	-	45	1.55	35	1.21	111	3.83	24	0.83	25	0.86	24	0.83	25	0.86	-	-
福井県	-	-	44	2.00	21	0.95	156	7.09	39	1.77	22	1.00	7	0.32	21	0.95	1	0.05
山梨県	2	0.05	18	0.72	30	1.20	58	2.32	20	0.80	14	0.56	8	0.32	8	0.32	-	-
長野県	-	-	99	1.80	72	1.31	162	2.95	91	1.65	68	1.24	61	1.11	49	0.89	1	0.02
岐阜県	-	-	52	0.98	30	0.57	68	1.28	74	1.40	19	0.36	20	0.38	33	0.62	-	-
静岡県	-	-	94	1.09	72	0.84	392	4.56	103	1.20	95	1.10	31	0.36	80	0.93	4	0.05
愛知県	-	-	133	0.73	173	0.95	415	2.28	162	0.89	85	0.47	73	0.40	156	0.86	1	0.01
三重県	-	-	33	0.73	45	1.00	195	4.33	43	0.96	27	0.60	7	0.16	53	1.18	2	0.04
滋賀県	-	-	56	1.70	17	0.52	56	1.70	27	0.82	10	0.30	3	0.09	25	0.76	-	-
京都府	-	-	29	0.41	31	0.44	223	3.19	58	0.83	57	0.81	38	0.54	36	0.51	1	0.01
大阪府	1	0.00	118	0.61	150	0.77	581	2.98	169	0.87	120	0.62	66	0.34	139	0.71	2	0.01
兵庫県	1	0.01	109	0.85	118	0.92	405	3.16	173	1.35	465	3.63	68	0.53	109	0.85	2	0.02
奈良県	-	-	38	1.09	39	1.11	85	2.43	38	1.09	15	0.43	16	0.46	17	0.49	1	0.03
和歌山県	-	-	24	0.77	25	0.81	98	3.16	36	1.16	4	0.13	10	0.32	34	1.10	2	0.06
鳥取県	-	-	5	0.26	45	2.37	105	5.53	17	0.89	1	0.05	4	0.21	9	0.47	-	-
島根県	-	-	10	0.43	7	0.30	102	4.43	23	1.00	2	0.09	5	0.22	26	1.13	1	0.04
岡山県	-	-	32	0.59	34	0.63	188	3.48	27	0.50	19	0.35	17	0.31	39	0.72	1	0.02
広島県	-	-	74	0.99	76	1.01	304	4.05	64	0.85	13	0.17	21	0.28	69	0.92	1	0.01
山口県	1	0.01	63	1.29	51	1.04	217	4.43	36	0.73	23	0.47	17	0.35	53	1.08	2	0.04
徳島県	-	-	13	0.57	13	0.57	60	2.61	15	0.65	7	0.30	12	0.52	16	0.70	-	-
香川県	-	-	18	0.56	13	0.41	83	2.59	21	0.66	1	0.03	5	0.16	26	0.81	3	0.09
愛媛県	-	-	23	0.59	102	2.62	229	5.87	28	0.72	44	1.13	9	0.23	51	1.31	-	-
高知県	-	-	17	0.55	32	1.03	78	2.52	15	0.48	21	0.68	2	0.06	16	0.52	-	-
福岡県	-	-	115	0.96	187	1.56	555	4.63	181	1.51	342	2.85	70	0.58	137	1.14	-	-
佐賀県	-	-	13	0.57	18	0.78	49	2.13	43	1.87	27	1.17	11	0.48	44	1.91	1	0.04
長崎県	-	-	15	0.34	42	0.95	132	3.00	33	0.75	73	1.66	3	0.07	27	0.61	-	-
熊本県	-	-	44	0.90	98	2.00	193	3.94	37	0.76	19	0.39	5	0.10	52	1.06	1	0.02
大分県	-	-	13	0.36	87	2.42	212	5.89	51	1.42	75	2.08	46	1.28	39	1.08	-	-
宮崎県	-	-	48	1.33	80	2.22	225	6.25	56	1.56	7	0.19	20	0.56	79	2.19	1	0.03
鹿児島県	-	-	38	0.67	40	0.70	205	3.60	55	0.96	40	0.70	14	0.25	48	0.84	1	0.02
沖縄県	3	0.05	38	1.12	62	1.82	11	0.32	16	0.47	78	2.29	7	0.21	25	0.74	5	0.15

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年28週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	99	0.03	10795	3.55	38	0.01	3040	1.00	11	0.02	611	0.96	3	0.01	46	0.10	109	0.23
北海道	2	0.01	208	1.45	-	-	131	0.92	-	-	25	0.86	-	-	-	-	5	0.22
青森県	1	0.02	85	2.02	-	-	29	0.69	-	-	2	0.18	-	-	-	-	4	0.67
岩手県	-	-	65	1.76	-	-	13	0.35	-	-	13	1.08	-	-	-	-	8	0.40
宮城県	-	-	138	2.34	-	-	54	0.92	-	-	2	0.18	-	-	-	-	7	0.58
秋田県	1	0.03	128	3.66	-	-	2	0.06	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.14
山形県	-	-	174	5.80	1	0.03	38	1.27	-	-	4	0.50	-	-	3	0.30	6	0.60
福島県	1	0.02	185	3.85	5	0.10	39	0.81	1	0.08	23	1.92	-	-	-	-	7	1.00
茨城県	2	0.03	190	2.57	-	-	42	0.57	-	-	32	2.00	-	-	-	-	6	0.55
栃木県	3	0.07	159	3.46	-	-	4	0.09	1	0.08	18	1.50	1	0.14	-	-	1	0.14
群馬県	6	0.10	90	1.45	-	-	109	1.76	-	-	41	2.93	-	-	-	-	5	0.50
埼玉県	5	0.03	781	4.85	2	0.01	250	1.55	2	0.05	54	1.46	-	-	-	-	-	-
千葉県	3	0.02	731	5.58	6	0.05	195	1.49	-	-	23	0.70	-	-	-	-	1	0.11
東京都	6	0.04	784	5.52	-	-	69	0.49	-	-	14	1.00	-	-	1	0.04	2	0.08
神奈川県	9	0.04	1016	4.93	-	-	203	0.99	3	0.07	54	1.29	-	-	1	0.08	-	-
新潟県	-	-	71	1.18	1	0.02	63	1.05	-	-	4	0.44	-	-	1	0.08	3	0.23
富山県	3	0.10	116	4.00	-	-	27	0.93	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
石川県	3	0.10	17	0.59	-	-	6	0.21	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.20
福井県	-	-	112	5.09	1	0.05	28	1.27	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	49	1.96	-	-	2	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.30
長野県	1	0.02	154	2.80	-	-	33	0.60	1	0.09	2	0.18	1	0.09	1	0.09	11	1.00
岐阜県	4	0.08	169	3.19	3	0.06	73	1.38	-	-	2	0.17	-	-	1	0.20	-	-
静岡県	1	0.01	366	4.26	8	0.09	130	1.51	-	-	11	0.55	-	-	4	0.40	4	0.40
愛知県	4	0.02	710	3.90	2	0.01	229	1.26	-	-	36	1.03	-	-	2	0.15	4	0.31
三重県	1	0.02	239	5.31	-	-	19	0.42	-	-	3	0.25	-	-	6	0.67	-	-
滋賀県	2	0.06	83	2.52	1	0.03	19	0.58	-	-	1	0.14	-	-	7	1.00	3	0.43
京都府	-	-	128	1.83	1	0.01	54	0.77	-	-	6	0.35	-	-	-	-	-	-
大阪府	8	0.04	524	2.69	4	0.02	227	1.16	1	0.02	22	0.45	-	-	1	0.07	1	0.07
兵庫県	-	-	532	4.16	1	0.01	145	1.13	-	-	24	0.69	-	-	-	-	1	0.08
奈良県	-	-	163	4.66	-	-	20	0.57	-	-	4	0.44	-	-	5	0.83	4	0.67
和歌山県	-	-	88	2.84	-	-	56	1.81	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	60	3.16	-	-	8	0.42	-	-	-	-	-	-	3	0.60	-	-
島根県	-	-	102	4.43	-	-	21	0.91	-	-	2	0.67	1	0.13	-	-	1	0.13
岡山県	-	-	187	3.46	-	-	52	0.96	-	-	11	0.92	-	-	-	-	1	0.20
広島県	2	0.03	278	3.71	-	-	85	1.13	-	-	20	1.00	-	-	2	0.11	1	0.05
山口県	-	-	329	6.71	-	-	69	1.41	-	-	9	1.00	-	-	-	-	1	0.11
徳島県	-	-	95	4.13	-	-	6	0.26	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	215	6.72	-	-	14	0.44	1	0.33	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	173	4.44	-	-	39	1.00	-	-	6	0.86	-	-	-	-	2	0.33
高知県	-	-	65	2.10	-	-	15	0.48	-	-	11	3.67	-	-	-	-	2	0.22
福岡県	17	0.14	470	3.92	1	0.01	258	2.15	-	-	15	0.58	-	-	2	0.13	5	0.33
佐賀県	-	-	45	1.96	1	0.04	71	3.09	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	3	0.07	47	1.07	-	-	14	0.32	-	-	7	0.88	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	-	-	129	2.63	-	-	30	0.61	-	-	14	1.56	-	-	5	0.33	3	0.20
大分県	2	0.06	172	4.78	-	-	19	0.53	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.03	100	2.78	-	-	13	0.36	1	0.25	12	3.00	-	-	-	-	2	0.29
鹿児島県	6	0.11	59	1.04	-	-	8	0.14	-	-	7	1.00	-	-	1	0.08	1	0.08
沖縄県	2	0.06	14	0.41	-	-	9	0.26	-	-	60	6.00	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成16年28週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	7	0.01	5	0.01	40
北海道	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	...
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	1	0.08	-	-	...
秋田県	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-
福島県	2	0.29	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	-
東京都	-	-	3	0.12	5
神奈川県	-	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.10	-	-	...
長野県	-	-	-	-	6
岐阜県	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.10	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	...
兵庫県	-	-	1	0.08	1
奈良県	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	1	0.17	-	-	2
高知県	-	-	-	-	...
福岡県	1	0.07	1	0.07	1
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	...
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	3

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(…)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

感染症週報 第6巻 第28号 平成16年7月26日発行
発 行: 国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。